学校番号	220

令和５年度　　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	書Ⅰ（光村図書）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代の生活において、筆で書いている文字が増えていると感じていませんか。日常の生活、例えば広告などで筆を使って書く文字のインパクトの強さに驚く時があります。書はただ文字を書くことですが、書くことの中に「思い」や「個性」を表現することができます。一人ひとりが書く文字はそれ自体がその人を表すとも考えられます。文字を書く中に色々な楽しみが隠れています。書道の授業を通して、それらを学び、自己表現能力を磨いてください。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 授業プリント感想 作品ファイル	観察 授業プリント感想 作品ファイル 提出作品	観察 授業プリント感想 作品ファイル 提出作品	観察 授業プリント感想 作品ファイル 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	漢字の書(臨書から創作へ)	・書体の変遷 名前の五書体を調べ漢字の変遷に興味を持つ ・楷書の基本を理解する ・楷書から多様な表現を理解する ・漢字一文字作品制作 ・表具と合評	○		○	○	a:漢字の五書体に関心を持ち、表現や鑑賞に意欲的に取組もうとしている。 c:基本的筆遣いから創作に必要な用筆法を身につけ表現している。 d:様々な楷書の美しさや創作作品の豊かさを味わっている。	観察 授業ファイル 提出作品
2学期	行書	・行書の基本を知る ・行書体の一文字作品の制作(マーブリングしたうちわに書く)		○	○	○	b:行書の基本的な用筆を理解し創作へとつなげている。 c:行書の習得した技法を生かすことができる。 d:うちわに各自の個性を発揮し創作的な活動ができる。	観察 授業ファイル 提出作品
	篆刻	・自分の名前の篆書体を調べる ・名前の一文字白分印の制作	○		○	○	a:名前の篆書体調べを通して篆書体の美しさに関心を持ち、意欲的に取組もうとしている。 c:運刀の技法を理解し、習得することで制作に生かしている。 d:筆で書いた作品と違った篆刻のよさや美しさを味わっている。	観察 授業ファイル 提出作品
	刻字	・漢字一字を行・草書で書く ・セラミックボードに籠字を取り刻す ・絵の具で彩色する	○	○		○	a:刻字の美しさと表現効果を味わうことで刻字への関心を高めようとしている。 b:刻字の表し方やその美しさを理解し表現を工夫している。 d:刻字の美やよさを感じ取っている。	観察 授業ファイル 提出作品

3学期	漢字仮名交じりの書（カレンダー作品制作）	・言葉や詩文を選ぶ ・紙面構成を考える ・色々な線による表現を考える ・墨色の変化を考える	○	○		○	a:漢字と仮名の調和と線質の関係について関心を持ち、表現を高めようとしている。 b:自己表現のねらいを達成するため、用具・用材・線質・字形・全体の構成などに工夫している。 d:創造的な表現をするために多様な線質・用具・用材による表現の違いを感じ取っている。	観察 授業ファイル 提出作品
	仮名	・仮名の成立と種類について ・いろは歌 ・連綿	○		○	○	a:仮名文字と漢字の違いを理解し仮名独特の美しさに関心を持つ。 c:仮名文字の美しさを理解し、技法を身につける。 d:漢字とは違った仮名の線質、用具、用材の表現を味わっている。	観察 授業ファイル 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。